



# 百留発

## 史跡を拠点とした地域の輪

百留地区にある、百留横穴墓群(町指定史跡)は古墳時代のお墓で、横穴の数が多いことから地元では「百穴」と呼ばれ、昔から子どもたちの遊び場として親しまれてきました。百留地区の有志でつくる百穴壮年会が、地域づくり活動事業として百穴の保全活動を始めて3年目。そこには目を見はるような光景が広がっていました。

### 地域づくり活動事業から生まれたおもてなしの心

百穴壮年会による保全活動が行われるまで、百穴は草や木が生い茂り、すぐ下の町道を通っていても気がつかない人がほとんどでした。しかし、定期的な草刈りや壊れかけていたポンプ小屋を解体するなどの清掃活動の後は見違える程きれいになりました。

また、もつとたくさんの人に見に来てもらうために、駐車場の整備、階段や案内板の設置など、おもてなしの気持ちを大切にしています。

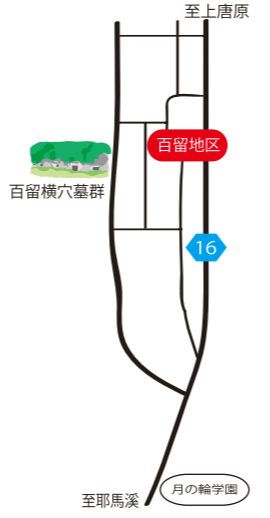
### 百穴の提灯の灯りに次の世代へと続いてほしいとの願いを込めて

百穴壮年会の一番のイベントは、お盆の3日間に百穴を照らす提灯飾りと盆踊り。この取り組みは、町の発掘調査によって、このお墓が家族墓であることが分かったことから、地域の力で先祖の弔いをしていこうと企画されたものです。

8月11日(水)の準備当日は、台風4号の影響であいにくの雨に。しかし、お盆までに日がないことから、カッパを着ての草刈作業を実施。翌日に40個の提灯を飾りつけて無事にお盆を迎える準備ができました。

8月14日(土)盆踊り当日。すっかり日の暮れた百留地区の山手、百穴の提灯で優しい光に包まれ、とても幻想的な雰囲気の中、炭坑節のメロディーが流れると、地域の方々が一斉に集まってきました。

百留義信さんのあいさつで始まった盆踊りの輪は、子どもからお年寄りまで大勢の参加者で次第に大きくなり広がりました。提灯の明かりで浮かび上がる百穴を背景に、盆踊りのメロディーと太鼓の弾む音。参加した皆さんは暑さを忘れてとても楽しそ



休憩時間には、子どもたちのために花火が準備されていて、夏休みの思い出づくりに貢献。皆さんも、子どもたちの笑顔に元気をもらって、盆踊りの輪は一層広がっているようでした。

自分たちで企画、準備、運営する手づくりの盆踊り。このような百穴壮年会の地域づくり活動により、百留地区では住民同士の交流が活発になり、協力が強まるなど、地域の活性化が少しずつ目に見えるようになってきています。また、百穴の見学者も増えてきており、地域の宝をより一層大切にして行こうという気持ちも高まっています。

地域の文化財の保全活動と、そこを拠点とした地域イベントを開催することで芽生えてきた地域の輪は、とても温かく感じられました。このような取り組みを次の世代にも受け継いでもらいたいという願いは、きっと、子どもたちの心の中に刻み込まれていることでしょう。

1 雨の中の草刈作業  
2 盆踊りであいさつする百留義信さん  
3 子どもたちに準備された花火  
4 百穴の前に広がった大きな輪  
5 百穴壮年会の皆さん